

# 福島のおゆき国会日誌

## <通常国会閉幕 不甲斐ない野党>

21日、1月23日から始まった令和5年の通常国会が閉会いたしました。岸田文雄首相が解散風を吹かせる中で、延長することもなく円満に閉じられた国会でした。野党として不甲斐ない思いですが、政権与党側の完全勝利です。

国会閉会の挨拶に、岸田首相や自民党の高木 国対委員長などが有志の会の控室にまでいらっしゃいました。私が「解散総選挙がなくなって残念です」と声を掛けたところ、岸田首相は複雑な表情をしました。

私の国会閉会に当たっての所感を YouTube で述べていますので、ぜひご覧ください。⇒



## <市民が考えるエネルギー政策>

18日、江戸川区で活動している NPO 法人「足元から地球温暖化を考える市民ネット・えどがわ」にお招きいただき、拙著の『エネルギー政策は国家なり』というタイトルで講演を行ってまいりました。

20年以上活動しているこの NPO 法人は、単に何かを主張するだけではなく、実際に自分たちでできることから脱炭素化に向けた行動をしようとしています。意識の高い皆さんが集まっていって、とても前向きな将来が楽しみな議論ができました。

江戸川区は城里町と友好都市協定、災害時相互支援協定を締結しており、すでに交流関係がありますが、さらに何か具体的なことが始まればいいなと期待いたします。



## <STOP！インボイス 国会正門前で訴える>

14日、迷雲閉ざす国会正門前で開かれた「STOP！インボイス全国一揆」で、インボイス問題検討超党派議員連盟の副会長として一言訴えてまいりました。

私自身小規模事業者にとっての消費税の痛税感を実感した立場から、インボイス制度の導入は個人事業主や零細事業者にとって大きな影響があると考えます。ましてや、「物流の2024年問題」など働き方改革の影響で、これまでの被雇用者が個人事業主となって請負となる流れが加速することが予想されます。

売り上げ数百万円の個人事業主が負担する10%の消費税は、あまりに重税です。こうしたことは、インボイス制度の導入が複数税率の導入に伴ってなされ、軽減税率の恩恵を新聞社が受けていることから、マスコミはほとんど報道しません。

演説は YouTube でご覧いただけます。⇒



## <水戸市立双葉台小学校の国会見学>

16日、国会見学に来た水戸市立双葉台小学校6年生の皆さんにご挨拶を致しました。国会閉会中でも国会見学を随時受け付けております。時間が許せば私自らご案内いたします。

